

第2回 超初級！ 外国人向けHPのSEO対策

前回は外国人向けホームページ(以後・HP)の「施設基本情報の掲載方法」をテーマにお話した。それに引き続き今回は超初級！外国人向けHPのSEO対策を紹介する。

そもそもSEOとは何か？
そしてなぜ外国人向けHPにもSEOが必要なのか？SEOとは検索エンジンの検索結果ページの上位に自社HPが表示されるように最適化するということである。

現在、インターネットを使って調べ物をする際、検索エンジンを利用する割合は8割、9割と言われている。つまり検索エンジンに引っかかるからHPは存在していないと同じである。ただし、日本語で引っかけたところの意味は無く、例えば「グーグル」で検索をする場合自分の施設のキーワードがきちんと英語で引っかけられる対策が必要である。

インバウンド獲得するHP作成術

では自社の外国語HPをいかにSEO対策するか。その中で最も重要なのがHP内に入れたキーワードである。自社HPのキーワードをどんなキーワードにするかでSEOの成否が8割決定する。

某大阪のビジネスホテルで外国語HPリニューアルの際、検索エンジンを利用する割合は8割、9割と言われている。つまり検索エンジンに引っかかるからHPは存在していないと同じである。ただし、日本語で引っかけたところの意味は無く、例えば「グーグル」で検索をする場合自分の施設のキーワードがきちんと英語で引っかけられる対策が必要である。

タイトルに重要なキーワードは必ず入れる

またhotelというキーワードだけではなくinn, accommodation, reservation, booking など宿泊に関するキーワードを入れ込むことは必須。更にキーワードはページ毎に変更する必要があるため、客室のページであればroomという

うキーワードだけでなくstay, style, single, 温泉のページであればhot spring, onsen といった英語独自の類義語にも注意を払いHPを最適化する。最後に読者の皆



様のために一番早く効果が出る方法をお伝えしたい。HP左上にある「title(タイトル)」という部分のキーワードは検索エンジンが最も重要視している。この部分は本でいう「題名」と同じもので、HP全体の内容を要約しているという意味で重要視されているのだ。私が考える最高のタイトルテキストの法則は「地域名+hotel 貴社ホテル名 短いキャッチコピー」。例：浅草にある○ホテルの場合、「Asakusa Hotel」。

○Hotel in Tokyo (Japan) style hotel を確認して欲しい。

筆者プロフィール



オーエイチ
チーフディレクター
有馬 孝行

1976年熊本県出身。2001年富士屋ホテル入社後、海外リゾートホテルや都内外資系ホテルを経て06年3月オフィスオーエイチ(現:株式会社オーエイチ)入社。入社後はホテルのネットマーケティングと海外経験を活かしてホテル・旅館の外国人向けホームページのディレクション・海外プロモーション担当として活躍中。